

福祉用具の魅力を発見!!

「なごや福祉用具プラザ」に、桜花学園高校の生徒さんが見学に訪れました。

みなさん最初は緊張した面持ちでしたが、実際に福祉用具を手にとったり、体験していくにつれ、笑顔が多くなり、最後のアザラシ型の癒し系ロボットには、「かわいい～!」という声も。

最初はどのようなことをするのだろうと思っていましたが、すごく良い体験やお話が聞けて参加して良かったと思いました。家族などにも勧めてみたいと思いました。短い間でしたがとても楽しかったです。ありがとうございました! 石川 愛梨さん



様々な種類の車いすに乘れたり、全く知らなかった福祉用具に触れることができてよかったです。とても楽しかったです。車いすにもこんなに種類があるとは思いませんでした。普段みることもないものも見ることができたので、いい刺激になったし、勉強になりました。(井上 万葉さん)



知らなかったことがたくさん学べて良かったです。車いすだけでなく様々な種類があったり、使う人に合わせた工夫がたくさんあって自分も何かアイデアを考えてみたいと思いました。少し視点を変えるだけでこんなに過ごしやすい生活になるのだと驚きました。私も一人ひとりのことを考えることができる人になりたいです。そのために今日のよつに色々な工夫を実際に見たり体験したりしていきたいです。(浅井 麻友さん)



今回、色々な福祉用具を見ただけでなく実際に触れたり体験することによって、とても勉強になりました。たくさん福祉用具を見させていただきましたが、私もそうだったように実際に体験することによって、感じられないことも多くありました。例えばベッドの角度を0度に近づけていくと、0度の所では頭が下がっているように感じることがあります。今回の体験から、普段私達に感じることのできない感覚などを感じられたので、今後のボランティア活動でも役立てられることが多くあると思います。とても良い体験をさせていただけてとてもうれしかったです。多くの方にも知ってもらいたいと思います。(藤井 茜さん)

■「なごや福祉用具プラザ」は福祉用具の専門施設です。

なごや福祉用具プラザは、社会福祉法人名古屋総合リハビリテーション事業団が運営し、障害のある方や、身体機能の低下した高齢の方の自立を支援し、介護者の負担を軽減するため福祉用具のご相談や、介護に関する実習や研修を行っています。

名古屋市中区御器所通3-12-1 御器所ステーションビル3F
TEL:052-851-0051



「メンタルコミットロボット」は独立行政法人産業技術総合研究所の登録商標です。「パロ」は株式会社知能システムの登録商標です。

見学に訪れた高校生のみなさん

桜花学園高等学校
井上 万葉さん(1年)
浅井 麻友さん(2年)
石川 愛梨さん(2年)
藤井 茜さん(2年)

福祉に頑張る先輩を訪ねて

高校生のみなさんやそのご家族に、福祉施設の仕事をもちと知っていただきたいと考えています。そして、そのために、高校生のみなさんに地域の福祉施設を訪ね、感じたことを書いていただきました。

福祉しんぶん

福祉のお仕事新聞

南区・熱田区・昭和区・瑞穂区
エリア版

2016年1月

発行：特定非営利活動法人
未来人材開発プロジェクト
TEL:052-325-2220

※愛知県教育委員会認証
「あいち夢はぐくみサポーター」登録申請中
制作：株式会社 大井企画



特定非営利活動法人(NPO法人)
未来人材開発プロジェクトとは？
青少年・就職・転職及び復職希望者に対して、人材育成に関する事業を行い、雇用に係る問題の改善を図り、エンプロイアビリティ(雇用される能力)の向上と社会資産の増進に寄与することを目的とする法人です。

障がい者と生徒が、楽しく交流!



10月13日、西陵高等学校において、精神障がい者と生徒との交流会が行われました。

学校近くにある知的障がい者の施設、「地域活動支援センターとびら」、「地域自立支援センターみち」、「ボランティア団体夢叶(ムート)」から、約10名の当事者の方が高校を訪ね、生徒たちとの交流会を楽しみました。

当事者からは、「健常者と同じように、普通に接してほしい」、「偏見を持たずに話してほしい」という要望がありました。

また、生徒たちに、「もしも、あなたの彼氏や彼女が障がい者だったら?」との質問に対し、生徒の大半は「問題ない。障がい者であることは恋愛の壁にはならない」との回答でした。

後半、グループに分かれて、お茶を飲みながら会話を楽しみました。最後は、AKB48の「恋するフォーチュンクッキー」を全員で踊り、楽しいひとときを過ごしました。





林 美里さん
介護科
入社 3 年目
名古屋市立西陵高等学校卒業



藤瀬 達也さん
介護科 主任
入社 9 年目
名古屋保育・福祉専門学校
介護福祉科卒業



ゆうあいの里大同
名古屋市南区

02 南区エリア ゆうあいの里 大同

私は今回の施設訪問でたくさんの方のことを学びとても良い経験をさせていただきました。まず、一番感じたことは特別養護老人ホームと介護老人保健施設とは全く違う印象を受けました。今回は介護老人保健施設に訪問し、作業療法士さんと管理栄養士さんと介護士さんにお話を伺いました。どの仕事も利用者さんがどんなに良くなり「ありがたい」と笑顔で言われるこの仕事のやりがいを感じるので、言葉や笑顔、気持を伝えることは大切だと改めて感じることができました。

食事では、お茶ゼリーが一番印象的でした。私は介護食でとりをつけたお茶しか飲んだことがなかったため、ゼリー状のお茶は初めて試飲し、とりよりも飲みやすい印象を受けました。利用者様が食事をしっかりと食べることが大切ですので、一人ひとりに合った食事を出すことを心がけていました。とても大変ですが、その分やりがいのある仕事だと思いました。

介護の仕事は、正直、大変な仕事だと思っていましたが職員さんのお話を聞きたところ、やめたいと思った事は一度もなく、利用者さんと仲良くなり、会話が楽しいとおっしゃられていました。苦しいこともあるけど、それ以上に楽しくやりがいのある仕事だと印象が変わりました。信頼関係が大切で、焦らずまずは自分のことから話していくとコミュニケーションがうまくいくととてもなることを聞けて良かったです。

今回の訪問を終えてたくさん良いことを聞き勉強になりました。ここで学んだことを生かしたいと思いました。本当に貴重な体験をありがとうございました。

（江口真由さん）

利用者さまも職員さんも みんな楽しそうでした♪



今回の施設見学では、特別養護老人ホームという施設を訪問させていただきました。そこで、介護施設といつても施設ごとに提供しているサービス内容が違ふことを学びました。特別養護老人ホームでは、利用者さまの家となる場所なので、職員さんは利用者さまの日常生活のお手伝いをするのが仕事となります。

今回で二回目の施設見学となりましたが、どちらの施設でも感じたことは、施設の雰囲気明るく、あたたかく、利用者さまも職員さんも楽しそうでした。そして、自分の中にあった介護施設の暗さという印象とは違い、笑顔の溢れる素敵な場所だと思いました。

職員さんは若い方も多く働かれていらっしゃいました。そして、番上りの職員さんは六十八歳の方もお仕事をされていると聞き、驚きました。介護は大変で辛いというイメージがありましたが、職員さんは介護という仕事にやりがいを感じ、とても楽しそうにお仕事をされていました。職員のみならずは、いつも素敵な笑顔で利用者さまと接していて、その分利用者さまの笑顔もとても素敵でした。「人と関わる仕事は、機械を組み立てる仕事とは違い、毎日同じ仕事をしないから楽しいし、やりがいがある。」と話してくださった職員さんの姿は、とても輝いて見えました。いつか自分も人の役に立てる仕事に就きたいと思いました。とても良い経験になりました。（後藤夏実さん）

施設見学が終わり、一番最初に思ったことが、「また必ずここに来たい」ということでした。利用者さんも介護福祉士の方もみなさん明るく笑顔で過ごしていました。初めて会った私たちにも優しく、興味深そうに話してくださった一人のおじいさんがとても印象的でした。みんなのまじめのよういろいろな教えてくださって、「ここは本当に良い所だよ」と自慢気に教えてくださいました。みんなでしりとりをやった時も歌を歌った時も職員の方や利用者さんがすごく楽しそうでした。職場で「言葉が何度言っても伝わらない時は良い方法で伝えよう」としたり、その人よりも低い目線から見上げるようにして話していました。

今回のインタビューで大切にしていることは何かと聞いたら利用者さんが自分だと思って接している」と答えてくださいました。この答えはインターネットでも見たことがなくて初めてでした。自分が介護される側ならどう接して欲しいかということに常に考えながら仕事をしていることはすごいことだと思いました。

その方は利用者さんからも慕われていて3年目だとは思えない程だ。他の方もおっしゃっていました。そんなみんなに慕われる人にもなりたかったです。

この先いろんな施設に行つて、積極的に行動して「また担当してもらいたい、あなたで良かった」と一人でも多くの人に言ってもらえるように頑張つて勉強して介護福祉士になりたいと思いました。

（小田咲樹さん）

利用者さまと話していたら、 いつのまにか笑顔になれた♪



取材に行った生徒さん
西陵高校 1年
後藤 夏実さん
小田 咲樹さん
鈴木 悠真くん

笑顔があふれる施設で
またここに来たいと
思ったよ♪



頼られる人になりたいと感じました。

約百名の利用者さんがいる中で、最初は利用者さんは静かな人が多いだろうと思っていたのですが、実際にふれあつてみると自分が思っていたよりもとても元気な中には百歳を越える利用者さんもいらっしゃいました。その方たちもとても百歳とは思えないほど元気でした。利用者さんから積極的に接してくださつて、とても話やすく、緊張もすぐになくなり、いつのまにか笑顔になっていました。

スタッフの方々は利用者さんとお話している時間が一番楽しいとおっしゃっていて、すごく利用者さんを大切にしていると感じました。自分もいつかスタッフの方々のように信頼され、相手の気持ちを第一に考えて大事にできるように、高校生活の中で基礎知識をしっかりと身に付け、将来に役立てられるように努力していこうと思います。

（鈴木悠真くん）



西 冨加さん
看護科
入社 3 年目
名古屋市立西陵高等学校卒業



鈴木 聖奈さん
看護科 副主任
入社 7 年目
名古屋市立西陵高等学校卒業



大同老人保健施設
名古屋市南区

01 南区エリア 大同老人 保健施設



私は今回の施設訪問でたくさんの方のことを学びとても良い経験をさせていただきました。まず、一番感じたことは特別養護老人ホームと介護老人保健施設とは全く違う印象を受けました。今回は介護老人保健施設に訪問し、作業療法士さんと管理栄養士さんと介護士さんにお話を伺いました。どの仕事も利用者さんがどんなに良くなり「ありがたい」と笑顔で言われるこの仕事のやりがいを感じるので、言葉や笑顔、気持を伝えることは大切だと改めて感じることができました。

食事では、お茶ゼリーが一番印象的でした。私は介護食でとりをつけたお茶しか飲んだことがなかったため、ゼリー状のお茶は初めて試飲し、とりよりも飲みやすい印象を受けました。利用者様が食事をしっかりと食べることが大切ですので、一人ひとりに合った食事を出すことを心がけていました。とても大変ですが、その分やりがいのある仕事だと思いました。

介護の仕事は、正直、大変な仕事だと思っていましたが職員さんのお話を聞きたところ、やめたいと思った事は一度もなく、利用者さんと仲良くなり、会話が楽しいとおっしゃられていました。苦しいこともあるけど、それ以上に楽しくやりがいのある仕事だと印象が変わりました。信頼関係が大切で、焦らずまずは自分のことから話していくとコミュニケーションがうまくいくととてもなることを聞けて良かったです。

今回の訪問を終えてたくさん良いことを聞き勉強になりました。ここで学んだことを生かしたいと思いました。本当に貴重な体験をありがとうございました。

（江口真由さん）

利用者さまが快復していく 介護老人保健施設！

今回の施設見学で老健についてよく知ることができました。見学前は特養と老健の違いすら分かりませんでした。ですが施設の方から体験を交えた丁寧な説明をしていただき、特養は最後まで生活をする事ができるのに対し、老健は病院などに入院していた人が家で日常生活を行えるようにリハビリなどを行う施設だということを知りました。

私は、今回の施設訪問を終えて、より福祉について知ることができました。

私は最も食事に衝撃を受けました。今回は「嚥下食」という水や飲み物が飲み込めなくなったり、口から食べられなくなった方が、食べやすいようにする食事を食べさせていたのだと驚きました。「嚥下食」でもいろいろなレベルがあることを知り、驚きました。口に入れた食感がさらさらしているものやすぐに溶けるものなどがあり、とても不思議な感じがしました。

介護士の方にもお話を聞き、いろいろなことを知ることができました。この大同老人保健施設は病院と兼ねており、在宅復帰の支援ができるような良いなと思ひました。自分からしたとおっしゃっていたため、もしもじせす、積極的に話しかけられるように努力しようと思いました。中でも「目配り、気配り、心配り」と言う言葉が印象に残りました。私もこれからの実習のときに常に利用者の方を気にかけて、「目配り、気配り、心配り」を大切に過ごそうと思います。

今後、この学んだことを生かせるように福祉について勉強して行きたいです。

（小野木早月さん）

たくさんの方のバリエーションの 食事があつたよ♪



取材に行った生徒さん
西陵高校 1年
江口 真由さん
小野木早月さん
樋口歩ノ香さん

利用者さま一人ひとりに
合った食事があつて、
とても工夫されていたよ！



また、食事についてもよく知ることができました。今までは、ミキサーにかけた介護食やとろみをつけた介護食しか知りませんでしたが、口で食事をまとめることができる方とできない方で固さが変わる介護食や、歯茎でものを噛むことができる方の介護食など、人それぞれの食べる力に合わせた介護食があることを知りました。

このような貴重な体験を通して、リハビリをされた利用者さんが日常生活を行えるまで快復した姿を見ることができ、たくさんの方の介護食を食べるの良さも知ることができました。今回知らなかったことをたくさん知ることができ、とても自分のためになったと思います。学んだことを忘れず、夢に向かってしっかりと福祉について勉強していこうと思いました。（樋口歩ノ香さん）

今回の取材にお伺いした 福祉施設のご紹介



01 大同老人保健施設

入院や治療を必要としない比較的症状が安定している高齢者の方に、介護やリハビリテーションのお手伝いをしています。

また在宅で介護が必要な方のリハビリテーション・入浴・食事を支援する「デイケア」も行っております。

所在地

〒457-8511
名古屋市南区白水町 9
TEL.052-611-6212

事業内容

老人保健施設・ショートステイ
デイケア

法人名

社会医療法人 宏潤会

関連施設

大同病院
だいでうクリニック

02 特別養護老人ホーム ゆうあいの里大同

隣接の大同病院と24時間緊密な連携で利用者の皆様に安心、安全な生活を提供します。

要介護の高齢者の方を対象に入浴や排泄、食事などの日常生活全般をサポートしています。身体機能のチェックも行い、利用者の健康管理に努めています。

所在地

〒457-8511
名古屋市南区白水町 20
TEL.052-612-3030

事業内容

特別養護老人ホーム (80名)
ショートステイ (20名)

法人名

社会福祉法人 大同福祉会

図書カードプレゼント

URL: www.mirai-jinzai.com/fukushinbun/

2016年1月31日必切

抽選で10名様にプレゼント

福しんぶんアンケートに答えて…

図書カードをもらおう!

(500円分)

